

朗報！と悲報…です!!

フレッシュマン・オカザキのインド通信

お世話になっております！

本格的な夏が始まり、**大阪は茹だるような暑さが続いております**。インドの天候はすっかり雨季に入り、気温はだいぶ落ち着きを見せております。日中 35℃ほどで現在の大阪より少し高いぐらいでしょうか。しかし雨季なので、時折バケツをひっくり返したようなスコールに見舞われることもあります。今回の出張でも丁場からの移動中に遭遇してしまい、小さな川が氾濫し、橋が通行できない状態になっておりました。**通行可能な橋を探すのに2時間以上も余計に掛かってしまい、ホテルに到着するころには夜中になっていました**…。さて私の不幸話はさておき、今月も張り切ってインド情報をお伝え致します！

お待たせしました。M-13 出荷！

1年以上続く丁場の採掘停止により、皆様に多大なご迷惑をお掛けしてまいりました「M-13」、**弊社購入の原石がようやく門司港へ向けて出港しました！！**今までご不便をお掛けしてしまい、大変申し訳御座いませんでした。しかし、ようやく出荷されましたので、もう少々お待ち下さいませ。予定と致しましては、**8月末頃にお引渡し出来るのではないかと考えております**。あとは台風や積み替え地でのトラブルが起きないことをただただ祈るばかりです。。。

中国各工場にも間もなく原石が入荷し始め、製品も通常通り購入できるようになるかと思われま。詳しくは弊社担当営業員までご連絡下さい！

バングレーも復活！

バングレーと言えば、細やかで整った目合いと深い青味のある地色を併せ持つ、**インド最高級青御影**です。他の石種に比べて値段は高めですが、キズ・ムラが少なく成材率が非常に高いので、ご自身で加工をされるお客様からも好評を頂いております。そんなバングレー、実は去年まで採掘停止しておりましたが最近になり採掘が完全に再開され、今回他の丁場のついでに訪問したのですが、丁場の状態も非常に良くなっていました。

通常であれば再開したばかりの丁場は資金に困っている事が多いので単価は採掘停止前より高いのですが、なんと驚くべきことにバングレーは単価を少し値下げして再開したのです。市況を鑑みた為か、かなり思い切った値下げ決断と言えます。中国も購入を始めておりマーキングが多数ありました。そろそろ各工場に石が入るのではないかと考えられます。

以前は値段が高く手が出しにくいと考えていたお客様もおられると思いますが、目合い・石質・成材率を兼ね備えた銘石が、値段においても魅力を発揮し始めました！是非お試しください！



・新税制 GST について

前回のメルマガで触りだけご紹介した GST 施行によるインド税制改革、今回はより深くその実情を交えてご報告致します。

GST 改革とは…**高額紙幣廃止を実施した現首相ナレンドラ・モディ氏による二つ目の大きな改革です。****インド独立後最大の経済改革**と言われており、2017年7月1日より1200を超える物とサービスの税率が固められ、**今まで州ごとに異なっていた間接税を「GST」として統一する事で、企業にとって税務処理の簡素化や物流の効率化が可能となります。**また、現在も州境で横行している無数の悪習(役人への賄賂)を減らし、今まで遅延が多く発生していた現状が改善され、ビジネスがより活発になると期待されています。

…というのは政府の説明。

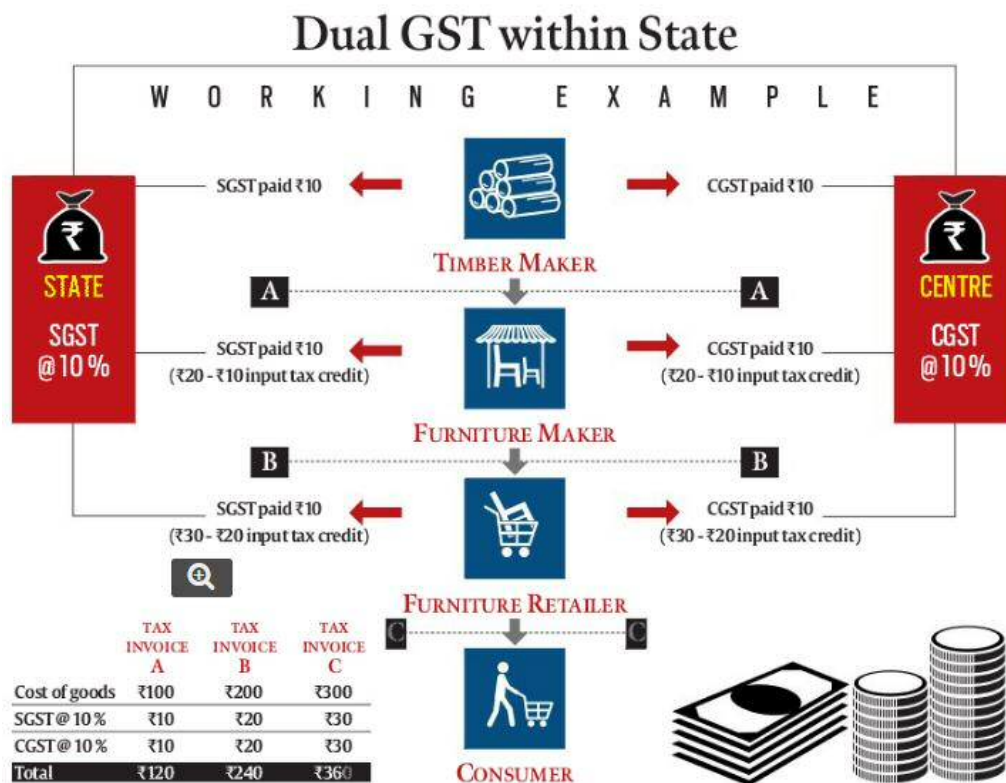
複雑だった税徴収が統一化されることで全体的にコストを下げられる…本当にそうなるとは信じていない弊社のインド協力会社さん達は**GSTの導入により、更に税率が上げられるのではないかと、戦々恐々**というのが現状です。

と、前回のメルマガにも書かせて頂きましたが、今回の出張で実情と石材業界への影響が少し見えてきました。それでは詳しく見ていきましょう！

[7月1日より、CGST が登場しました]

CGST とは、中央政府(Central Government)へ納める税金で、SGST は各州政府(State Government)へ納める税金を指します。複雑だった税徴収が統一化される…つまり州により税率が異なっていた SGST が撤廃され、CGST のみになるはずでしたが、現状は統一されるどころか今まで払っていた SGST に CGST が追加されただけです…。常識的に考えれば、CGST に統一化されるのだから州政府が徴収

する事は中央政府が許してはならないはずなのですが、現状はそれが許されているのです。。賄賂による収入が減る州政府の反発を避ける為と考えられます。



↑椅子が原料から製品として消費者に渡るまでに徴収される GST の図解です。左が SGST、右が CGST として各段階を経る毎に徴収されます。

【そして、我々石材界への影響は…】

石材製品に対しては 18%、原石に対しては 12%の税金が課せられるようです。

1~2 割の原価アップという事になります。。しかし、GST は国内消費に対して課せられる税金なので、輸出品に対してはこの税金が還付される…はずなのですが、現地協力会社達は本当に還付がされるのか、どこに行けば還付金をもらえるのか、還付にはどれぐらいの時間を要するのか…具体的な還付方法が不透明なままなので、値上げを示唆している工場もありますが、とまあ一旦様子見というところが大多数です。何にせよ、今後も大きな混乱を呼ぶことは間違いなさそうです…。

現地点でわかっている情報をご報告致しました。やはり難しい状況のようです。。。モディ首相の改革はとても大胆で、国民は苦しみながらもインドの未来の為、とモディ首相を信頼し指示し続けています。しかし協力会社のある方は、「モディは元々あった法案を、十分に中身を議論しないまま実施しているだけ。確かに実行力はあるかもしれないが、話題作りの為にしか見えない」と辛辣なお言葉。確かに GST 施行も高額紙幣廃止においても、否定できない部分はあるのかもしれません。今後も動向が気になるところです。

まだまだお伝えしたい実情がありますので、来月も GST について更に詳しく調査して、書いていこうと思いますのでご期待ください！

それでは今月はこの辺で失礼いたします。

最後まで読んで頂き、有難う御座いました！

2017/08/01 オカザキ